

安全報告書

－ 令和元年度 －



水島臨海鉄道株式会社



1. 利用者はじめ地元の皆さまへ

いつも水島臨海鉄道をご利用いただきまして誠にありがとうございます。
また、平素は鉄道事業に対してのご理解、ご協力を感謝申し上げます。

当社は、経営理念の第一に安全の最優先を掲げ、法律の遵守とともに安全輸送に努めております。

この報告書は、鉄道事業法に基づき、輸送の安全の確保のための取組みや安全の実態についてまとめたもので、広くご理解いただくために公表するものです。皆さまからの声を輸送の安全に役立てたく、是非、率直なご意見を頂戴できれば幸いです。

水島臨海鉄道株式会社 代表取締役社長 伊東 香織

2. 輸送の安全を確保するための基本的方針と安全目標

(1) 基本方針

当社の経営理念は第一に安全の最優先です。「基本方針」を次のとおり「安全綱領」として定め、社長以下社員全員に周知徹底しています。

1. 安全の確保は輸送の生命である。
2. 規程の遵守は安全の基礎である。
3. 執務の厳正は安全の要件である。

(2) 安全目標

当社では、経営トップを含め全社一丸となって安全管理体制の強化を推進しています。令和元年度は、「慣れたときほど再確認！基本動作で正しい作業」をスローガンに、社員一同「無事故達成」に向けて取り組みました。

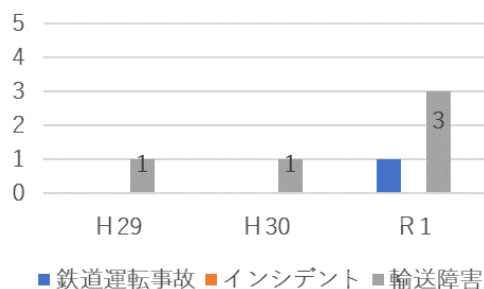
なお、令和2年度は「ルールを知る 基本を守る よいか確認？その作業！」をスローガンに掲げ、運転事故「0」、労働災害「0」を目指して取り組む所存です。

3. 令和元年度の事故発生状況

令和元年度は、鉄道運転事故は、鉄道人身傷害事故が1件の発生、輸送障害は、車両故障に起因するものが2件、貨車の組成不良に起因するものが1件、計3件の発生でした。

【令和元年度 事故発生件数】

(1) 鉄道運転事故	1件
(2) インシデント	0件
(3) 輸送障害	3件



4. 安全確保の取組み

(1) 安全推進会議

運転事故や労働災害防止に関する事項を審議し、有効な対策の策定、推進を行うことを目的として本社において隔月で開催しました。

自社、他社で発生した事故例を基に、グループ会社も参加して、対策等を検討・討議して事故防止に努めました。



(2) 乗務員指導訓練の実施

全乗務員に対して、計画的に教育・訓練を実施し、車両故障時等の迅速な対応等を含め、資質の維持・向上に努めました。

全運転士に対して2回以上の添乗を実施し、作業実態の把握に努めました。

(3) 異常時訓練の実施

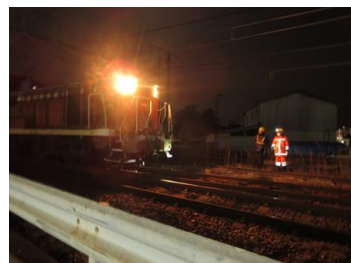
①「震度4の地震発生」を想定した対応訓練の実施（11月27日）

異常時における連絡体制の確認と確実な連絡、指示方の徹底を図りました。



②JR 西日本（岡山支社・倉敷駅）との合同訓練の実施（2月8日）

JR 倉敷駅の出発信号機及び場内信号機故障時の対応訓練を実施し、会社間の連携を確実にけるよう合同で行いました



③伝令法の訓練の実施（9月12日、19日、26日）

本線で車両故障発生が発生した場合を想定して伝令法の訓練を実施しました。訓練回数を多くすることで、より多くの関係者に参加してもらうことができました。



（4）年末年始の輸送等に関する安全総点検の実施（12月10日～1月10日）

年末年始における輸送の安全確保及び事故防止に万全を期するため、本社社員による各職場の点検を行い、安全管理の実施状況を確認しました。

年末に本社社員による列車添乗を実施し、安全・安心輸送の確保に努めました。

（5）踏切事故防止キャンペーンの実施（11月1日～11月10日）

踏切道、踏切保安設備等の点検整備を実施しました。

また、児童、学生を含めて通行量の多い「村東道踏切」及び工場に大型トラックが出入する「板敷踏切」において事故防止のチラシを配布し、踏切事故防止の啓発活動を実施しました。（11月8日）キャンペーン期間中は、関係箇所に立て看板を設置するとともに車内放送により事故防止の啓発活動を実施しました。



(6) ヒヤリ・ハットの推進

運転事故、労働災害防止のため、全社員にヒヤリ・ハットが定着するよう推進しました。評価委員会を開催して、報告の内容に応じて、対処すべき事柄について速やかに対応することに努めました。

また、12月には、推進月間を設け、報告の慫慂に努めました。

(7) 安全のための車両及び施設の整備・点検等の実施

安全性の維持・向上を図るため、車両・施設等について投資や点検、整備を実施しました。

【車両関係】

・車両の保守・点検整備の実施

- ◆月検査 53両（気動車…42両、機関車… 11両）
- ◆重要部検査 1両（機関車…1両）
- ◆全般検査 2両（気動車…2両）

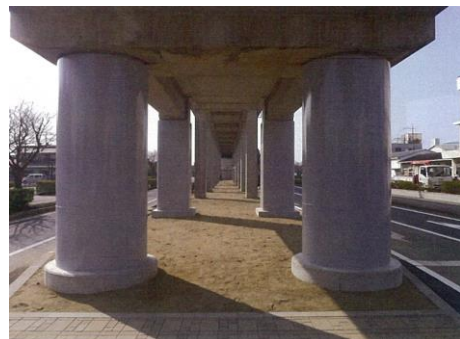
【施設関係】

① 高架橋耐震補強工事（栄町架道橋）

【着工前】



【完 成】



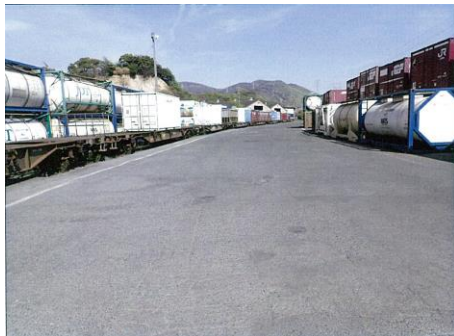
鋼板巻き立て工



桁座拡幅工

② 東水島駅構内通路コンクリート及び舗装工事

【着工前】



【完 成】



③ 防犯カメラ設置工事

(球場前駅・西富井駅・福井駅・浦田駅・弥生駅・常盤駅・水島駅)



福井駅取付後

④ 通信ケーブル更新工事

浦田駅～弥生駅間 6 k 275m～7 k 710m L = 1435m

⑤ 電気踏切しゃ断機取替工事 (吉川踏切・五軒屋踏切・臨港第一踏切)

【取替前】



【取替後】



五軒屋踏切 (WB4)

⑥ 電気転てつ機取替工事（53イ・53ロ号）

【取替前】



【取替後】



電気転てつ器 53イ号

⑦ 倉敷市駅電気掲示器取替工事

【取替前】

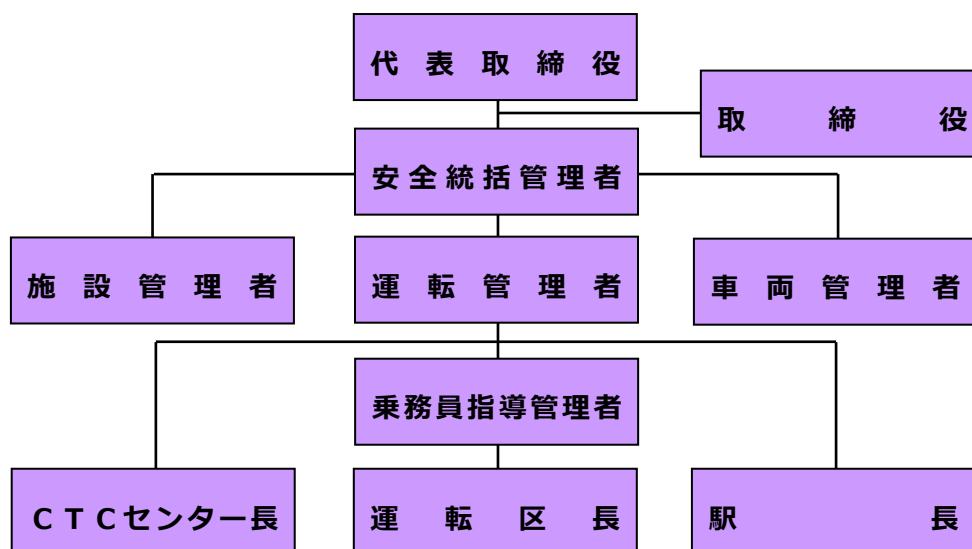


【取替後】



5. 安全管理体制図及び役割分担

体制図及び役割分担



役 職	役 割
代 表 取 締 役	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う
安 全 統 括 管 理 者	輸送の安全確保に関する業務を統括管理する
運 転 管 理 者	安全統括管理者の指揮の下、運転及び事故に関する事項を統括する
乗 務 員 指 導 管 理 者	運転管理者の指揮の下、運転士の資質保持に関する事項を管理する
施 設 管 理 者	安全統括管理者の指揮の下、施設に関する事項を統括する
車 両 管 理 者	安全統括管理者の指揮の下、車両に関する事項を統括する

安全報告書

－ 平成 30 年度 －



水島臨海鉄道株式会社

1. 利用者はじめ地元の皆さまへ

いつも水島臨海鉄道をご利用いただきまして誠にありがとうございます。
また、平素は鉄道事業に対してのご理解、ご協力を感謝申し上げます。

当社は、経営理念の第一に安全の最優先を掲げ、法律の遵守とともに安全輸送に努めております。

この報告書は、鉄道事業法に基づき、輸送の安全の確保のための取組みや安全の実態についてまとめたもので、広くご理解いただくために公表するものです。皆さまからの声を輸送の安全に役立てたく、是非、率直なご意見を頂戴できれば幸いです。

水島臨海鉄道株式会社 代表取締役社長 伊東 香織

2. 輸送の安全を確保するための基本の方針と安全目標

(1) 基本方針

当社の経営理念は第一に安全の最優先です。「基本方針」を次のとおり「安全綱領」として定め、社長以下社員全員に周知徹底しています。

1. 安全の確保は輸送の生命である。
2. 規程の遵守は安全の基礎である。
3. 執務の厳正は安全の要件である。

(2) 安全目標

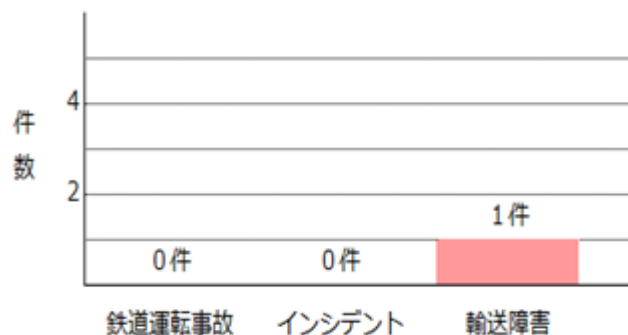
当社では、経営トップを含め全社一丸となって安全管理体制の強化を推進しています。平成 30 年度は、「目で見える！指を差す！声を出す！基本動作で安全確認」をスローガンに、社員一同「無事故達成」に向けて取り組みました。

なお、令和元年度は「慣れたときほど再確認！基本動作で正しい作業」をスローガンに掲げ、運転事故「0」、労働災害「0」を目指して取り組む所存です。

3. 平成 30 年度の事故発生状況

平成 30 年度はフォークリフトによる、貨車の吊り上げ事象に起因する、輸送障害が 1 件発生しました。

(1) 鉄道運転事故	0 件
(2) インシデント	0 件
(3) 輸送障害	1 件



4. 安全確保の取組み

(1) 安全推進会議

2 カ月に一回、グループ会社の参加も得て本社において開催しました。

運転事故、労働災害を防止し安全性の向上を図るため、自社、他社の事故事例を参考に安全対策や取組みの検討を行いました。



(2) 乗務員指導訓練の実施

全乗務員に対して、教育・訓練を実施し、車両故障時等の迅速な対応等を含め、資質の維持・向上に努めました。

(3) 異常時訓練の実施

①「震度 5 弱の地震発生」時の訓練の実施（平成 30 年 12 月 14 日）

CTC センターと乗務員及び本社間において、確実な連絡、指示方の訓練を実施しました。



②JR 西日本（岡山支社・倉敷駅）との合同訓練の実施（平成 31 年 3 月 27 日）

JR 西日本との並走区間で鉄道人身傷害事故が発生した場合を想定して、安全の確保と人命を最優先とした事故対応について会社間の連携を確認しました。



③ 信号てこ現場扱い訓練（平成 30 年 12 月 17 日、平成 31 年 2 月 2 日）

CTC 装置故障時の迅速な対応を目的として、現場（水島駅）での信号てこ扱い訓練を実施しました。



（４）年末年始の輸送等に関する安全総点検の実施（12 月 10 日～1 月 10 日）

年末年始における輸送の安全確保及び事故防止に万全を期するため、本社社員による各職場の点検を行い、安全管理の実施状況を確認しました。

年末に本社社員による列車添乗を実施し、安全・安心輸送の確保に努めました。

（５）踏切事故防止キャンペーンの実施（11 月 1 日～11 月 10 日）

踏切道、踏切保安設備等の点検整備を実施しました。

また、児童、学生を含めて通行量の多い「村東道踏切」及び工場に大型トラックが出入する「板敷踏切」において事故防止のチラシを配布し、踏切事故防止の啓発活動を実施しました。（平成 30 年 11 月 7 日）

キャンペーン期間中は、関係箇所にて看板を設置するとともに車内放送により事故防止の啓発活動を実施しました。



(6) ヒヤリ・ハットの定着

ヒヤリ・ハット評価委員会を月1回開催し、報告内容の検討と社員への定着の取組みに努めました。報告内容に応じて、対処すべき事柄について速やかに対応し、運転事故、労働災害の防止に努めました。

(7) 安全のための車両及び施設の整備・点検等の実施

安全性の維持・向上を図るため、車両・施設等について投資や点検、整備を実施しました。

【車両関係】

・車両の保守・点検整備の実施

- ◆月検査 50両（気動車…43両、機関車…7両）
- ◆重要部検査 1両（機関車…1両）
- ◆全般検査 2両（気動車…2両）

【施設関係】

① 高架橋耐震補強工事（旧国道2号線、国道2号線）

（設置前）



（設置後）



旧国道2号線



国道2号線

② 東水島駅構内コンクリートブロック設置（24枚）

【設置前】



【設置後】



③ 栄駅監視カメラ設置工事



④ 通信ケーブル更新工事

西富井駅～弥生駅間 4 k 260m～6 k 275m L = 2015m

⑤ 電気踏切遮断機更新工事（福井駅・天理教前・臨港第一）

⑥ 電気転てつ器取替工事（52・55号）

【取換前】



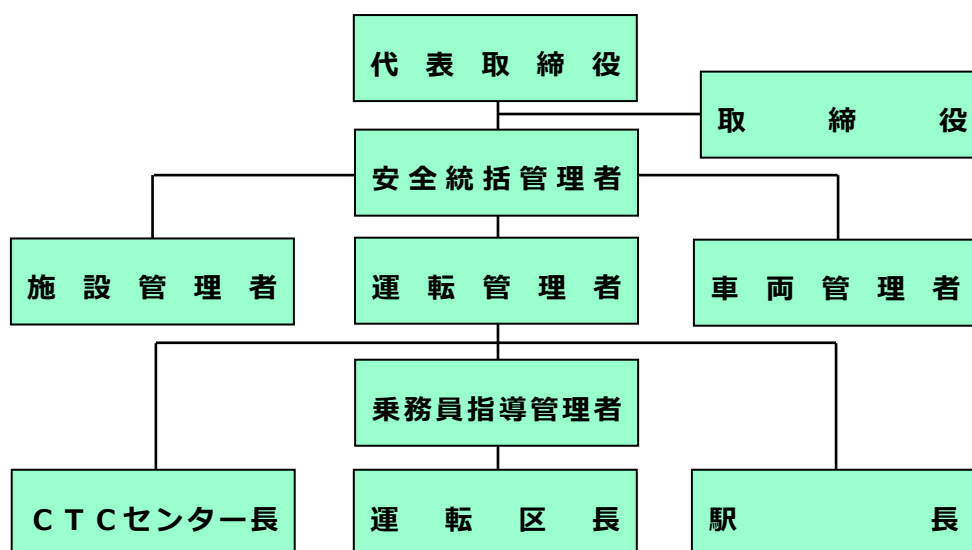
【取換後】



電気転てつ器 52号

5. 安全管理体制図及び役割分担

体制図及び役割分担



役 職	役 割
代 表 取 締 役	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う
安 全 統 括 管 理 者	輸送の安全確保に関する業務を統括管理する
運 転 管 理 者	安全統括管理者の指揮の下、運転及び事故に関する事項を統括する
乗 務 員 指 導 管 理 者	運転管理者の指揮の下、運転士の資質保持に関する事項を管理する
施 設 管 理 者	安全統括管理者の指揮の下、施設に関する事項を統括する
車 両 管 理 者	安全統括管理者の指揮の下、車両に関する事項を統括する

安 全 報 告 書

－ 平成 29 年度 －

1. 利用者はじめ地元の皆さまへ

いつも水島臨海鉄道をご利用いただきまして誠にありがとうございます。
また、平素は鉄道事業に対してのご理解、ご協力を感謝申し上げます。

当社は、経営理念の第一に安全の最優先を掲げ、法律の遵守とともに安全輸送に努めております。

この報告書は、鉄道事業法に基づき、輸送の安全の確保のための取組みや安全の実態についてまとめたもので、広くご理解いただくために公表するものです。皆さまからの声を輸送の安全に役立てたく、是非、率直なご意見を頂戴できれば幸いです。

水島臨海鉄道株式会社 代表取締役社長 伊東 香織

2. 輸送の安全を確保するための基本の方針と安全目標

(1) 基本方針

当社の経営理念は第一に安全の最優先です。「基本方針」を次のとおり「安全綱領」として定め、社長以下社員全員に周知徹底しています。

1. 安全の確保は輸送の生命である。
2. 規程の遵守は安全の基礎である。
3. 執務の厳正は安全の要件である。

(2) 安全目標

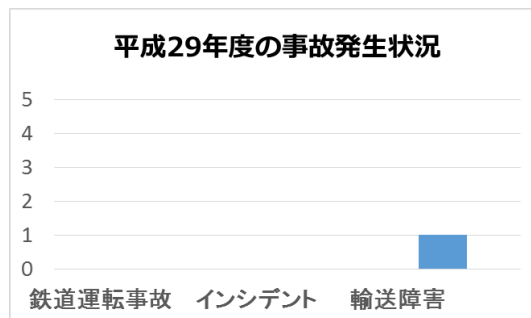
当社では、経営トップを含め全社一丸となって安全管理体制の強化を推進しています。平成 29 年度は、「ヒヤリ・ハットを忘れるな 徹底しよう正しい作業」をスローガンに、社員一同「無事故達成」に向けて取り組みました。

なお、平成 30 年度は「目で見ると指を差す！声を出す！基本動作で安全確認」をスローガンに掲げ、運転事故「0」、労働災害「0」を目指して取り組む所存です。

3. 平成 29 年度の事故発生状況

平成 29 年度は輸送障害については、車両原因による 1 件の発生となりました。

(1) 鉄道運転事故	0 件
(2) インシデント	0 件
(3) 輸送障害	1 件



4. 安全確保の取組み

(1) 安全推進会議

- ・ 2 カ月に一回、グループ会社の参加も得て本社において開催しました。
- ・ 運転事故、労働災害について、自社、他社の事故事例を参考に安全対策について検証し、事故防止に努めました。



(2) 乗務員指導訓練の実施

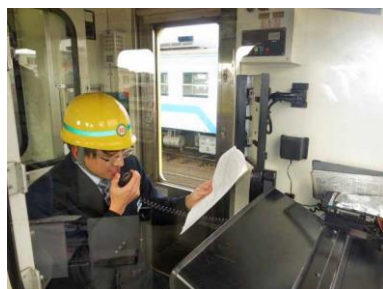
- ・ 全乗務員に対して、計画的に教育・訓練を実施し、車両故障時等の迅速な対応等を含め、資質の維持・向上に努めました。

(3) 異常時訓練の実施

- ・ JR 貨物と合同で、近畿・岡山地区入換合同訓練会を実施し、実技者による入換作業の訓練を合同で行い、入れ換え作業の基本作業の確認と知識の共有を行いました。(平成 29 年 10 月 6 日)



- ・「震度 5 弱の地震発生」を想定した対応訓練を実施し、異常時における連絡体制の確認と確実な連絡の徹底の取り組みを行いました。(平成 30 年 1 月 18 日)



- ・JR 西日本（倉敷駅）と合同で信号機故障を想定した夜間訓練を実施しました。(平成 30 年 2 月 16 日)

(4) 輸送安全総点検の実施（12 月 10 日～1 月 10 日）

- ・年末年始における輸送の安全確保及び障害事故防止に万全を期するため、本社社員により各職場の安全管理の実施状況の確認を行いました。
- ・年末に本社社員による列車添乗を実施し、安全・安心輸送の確保に努めました。

(5) 踏切事故防止キャンペーンの実施（11 月 1 日～11 月 10 日）

- ・踏切道、踏切保安設備等の点検整備を行いました。
- ・児童、学生を含めて通行量の多い「村東道踏切」及び工場に大型トラックが出入する「板敷踏切」において事故防止のチラシを配布し、踏切事故防止の啓発活動を実施しました。(平成 29 年 11 月 6 日)
- ・キャンペーン期間中は、関係箇所に立て看板を設置するとともに車内放送により事故防止の啓発活動を実施しました。



(6) ヒヤリ・ハットの定着

- ・ヒヤリ・ハット評価委員会を月 1 回開催し、報告内容の検討と社員への定着の取り組みに努めました。報告内容に応じて、対処すべき事柄について速やかに対応し、運転事故、労働災害の防止に努めました。

(7) 安全のための車両及び施設の整備・点検等の実施

- ・安全の維持・向上のため車両・施設等について投資や点検、整備を実施しました。

【車両関係】

- ① 列車無線機更新工事（車載型 2 台、携帯型 3 台 計 5 台）
- ② 車両の保守・点検整備の実施
 - ・月検査 5 1 両（気動車… 4 4 両、機関車… 7 両）
 - ・重要部検査 2 両（気動車… 1 両、機関車… 1 両）
 - ・全般検査 1 両（気動車… 3 両）

【施設関係】

- ① 東水島駅構内コンクリートブロック設置（2 4 枚）



（設置前）



（設置後）

- ② 西富井高架橋高欄補修工事



（設置前）



（設置後）

- ③ 並枕木更換（470 本）
- ④ 電気踏切遮断機更新工事（福井団地・福井踏切）
- ⑤ 電気転てつ器取替工事（水島駅 2 台）
- ⑥ 臨港第一踏切補修工事
- ⑦ 信号リレー更換工事（弥生駅・水島駅 95 個）

(8) 安全と旅客サービス向上の実施

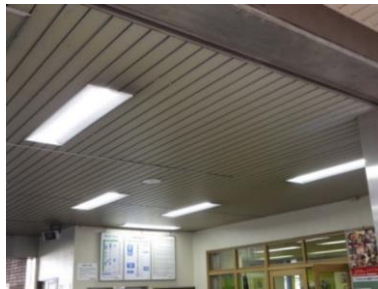
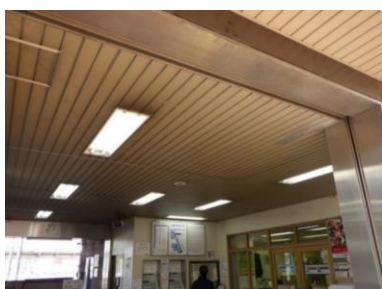
① 倉敷市駅待合室パーテーション設置工事



② 駅ホームベンチ交換



③ 駅・ホーム照明設備取替工事



【蛍光灯】

【LED】

④ 福井駅照明設備取替工事（LED化）

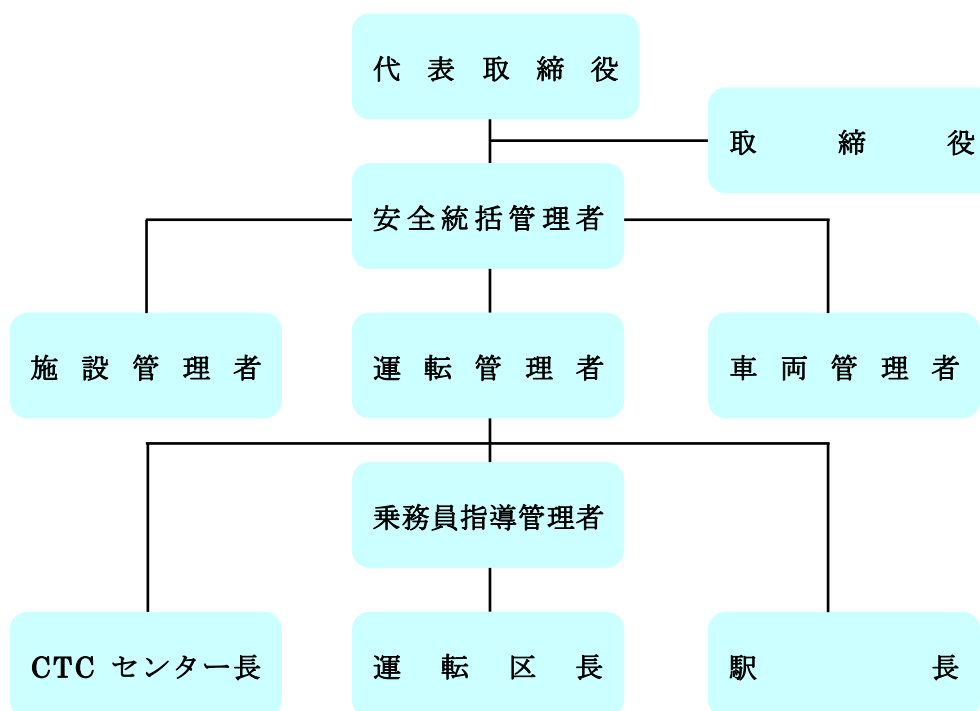


⑤ 西富井高架下剥落防止ネット設置工事（7ヶ所）



5. 安全管理体制図及び役割分担

体制図及び役割分担



役 職	役 割
代 表 取 締 役	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う
安 全 統 括 管 理 者	輸送の安全確保に関する業務を統括管理する
運 転 管 理 者	安全統括管理者の指揮の下、運転及び事故に関する事項を統括する
乗 務 員 指 導 管 理 者	運転管理者の指揮の下、運転士の資質保持に関する事項を管理する
施 設 管 理 者	安全統括管理者の指揮の下、施設に関する事項を統括する
車 両 管 理 者	安全統括管理者の指揮の下、車両に関する事項を統括する